

市民ネットワークわかば まちづくり通信 NO.82



市民ネットワーク千葉県
公式キャラクター
ネットりん

〒264-0033 千葉市若葉区都賀の台 4-5-15
☎ 043-284-2339 fax. 043-284-2362



住みよい
まちづくりを
あなたと！

いwasaki 明子

プロフィール

1967年 千葉市稲毛区生まれ。若葉区育ち。
小5～中2までニューヨークで過ごす。
みつわ台中学校・市立千葉高校・千葉大学文学部卒業。
富士通(株)勤務。
生活クラブみつわ台デポー支部リーダー、
みつわ台中学校PTA副会長、
市民ネットワークわかば 代表を経て
現在 市民ネットワークちば 共同代表。
10代の子どもの居場所を考える会で活動
夫・娘(14歳・18歳)とみつわ台在住
趣味：早朝散歩でのスナップ写真撮影
相撲観戦 美術館めぐり

山田 から いwasaki に バトンタッチ！

昨日まで主婦だった人が
議員になる。無謀な挑戦に見
えるかもしれませんが、
私たち市民ネットワークは20
年間そうしてきたのです。
議会には、様々な立場の市民の代表が
いるべきだと考えているからです。
多数派の意見ばかりが優先されるな
ら、それは本当の民主主義ではありません。
様々な意見をたたかわせ、着地点を
見出していく、そんな議会にしていきたい
のです。
困っている人も見逃さず、誰もが「千
葉市に住んでいてよかったね」と思え
る街づくりをめざします
岩崎明子

大人になっても千葉市民でいてほしいから

虐待や育児放棄などの悲しいニュースを聞くたびに、心が痛みます。子育ては本当に難しい。親だけにその責任を押し付ける社会ではいけないと感じています。子育てに悩む人が集える場を地域に作りたい。悩みを共有すれば、少し心が軽くなるはずですよ。

また、難しい人間関係を抱えている子どもたちにも、学校と家庭以外のホッとできる場所が必要です。放課後に気軽に立ち寄れる居場所が、商店街の空き店舗などを活用して作れたらと考えています。

子どもは社会の宝物。地域で育ちを支えることで、大人になってもこの街に住み続けてくれたらいいなと思います。



ときどき迷惑な？街路樹ですが・・・

もしも街路樹が無かったら？虫害がなくなる、落葉を掃除しなくて助かる、邪魔な枝がなくなり日当たりが良くなる…そう考える方もいらっしゃるでしょう。

しかし街路樹は、自分で生えたくてそこにあるわけではありません。日差しで路面が暑くなるのを防ぐ、火事の延焼を防ぐ、運転者の視線を誘導し走りやすくする、などの効果を期待して、人間が植えたものです。とはいえ、毎年大きくなる木を管理するにはお金もかかります。

人と自然がどうしたらうまく共生できるのかを考える「街路樹プロジェクト」から、市民参加で考えた政策を市に提言していきたいと考えています。



議員のお仕事をチェック！議会傍聴記

2月25日に、予算審査特別委員会（環境経済分科会）を傍聴しました。ここには10人の議員が委員として参加し、職員へ予算に関する質問をします。



「Q：企業立地の促進はどんな業種を考えているか→A：ヘルスケア産業やITなど」「Q：地方卸売市場を利用するよう地元小売店に伝えているか→A：職員と場内事業者で協力し取り組みたい」「Q：観光農園を市内の人が利用しないのでは→A：市外利用者が多く、市内在住者を受け入れるには農園の増設が必要」など、各議員が何に関心があるか、質問でわかります。本会議場で聞く代表質問や一般質問よりも、議員と職員のやりとりにライブ感があります。たくさん質問をする議員もいれば、なにも発言しない議員もいます。

議会を傍聴することは、「次の選挙で誰に投票しようか」、判断材料の一つになると思います。

4/12(日)は
統一地方選挙の
投票日です